

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 8 月 5 日 (2021.8.5)

【公開番号】特開 2020-141010 (P2020-141010A)

【公開日】令和 2 年 9 月 3 日 (2020.9.3)

【年通号数】公開・登録公報 2020-036

【出願番号】特願 2019-34234 (P2019-34234)

【国際特許分類】

H 0 1 L 23/48 (2006.01)

H 0 1 L 23/12 (2006.01)

H 0 1 L 25/07 (2006.01)

H 0 1 L 25/18 (2006.01)

【F I】

H 0 1 L 23/48 N

H 0 1 L 23/48 R

H 0 1 L 23/12 K

H 0 1 L 25/04 C

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 6 月 28 日 (2021.6.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 2】

図 5 に示すように、各リードフレーム 40, 50, 60, 70, 80 は幅を 3 種類有する 3 段構造となっている。立設部 41 は、接合部 45 の幅 W1 に比べて幅 W2 が広がる幅広部位 46 を有し、幅広部位 46 は、樹脂部 90 に埋没している。幅広部位 46 の上側には中間幅広部位 47 が形成され、中間幅広部位 47 の先端側は接合部 45 の幅 W1 と同じ接続部となっている。中間幅広部位 47 の幅 W3 は、幅広部位 46 の幅 W2 よりも小さく、接合部 45 の幅 W1 よりも大きい。幅広部位 46 よりも基端 40a 側において 90° 折り曲げられている。中間幅広部位 47 を設けることにより、幅広部位 46 から先端に向かって、幅の変化量を緩和することができる。中間幅広部位 47 を設けない場合、幅 W2 から幅 W1 に急に变化することになり、応力が加わりやすくなる。中間幅広部位 47 を設けることにより、幅の変化量を緩和して強度向上を図ることができる。